



900MOTORING AIR SUSPENSION

製品取扱説明書



www.900motoring.com

はじめに

この度は「900MOTORING AIR SUSPENSION」をご購入いただきありがとうございます。

EMBODY THE IDEALS OF YOU.

あなたの理想を具現化するために開発されたエアーサスペンション

スリムなエアバッグと選択可能なアッパーマウントにより、

太めのホイールも過度なキャンバーをつけた状態での装着が可能です。

エアマネージメントシステムには、シングルチップマイクロコンピュータ制御を採用。

コントローラーからの入力コマンドに応じて、電磁弁を正確かつスムーズに制御します。

さらに、ご購入後も安心してお使いいただけるよう、

充実したアフターサポート体制をご用意しています。

目次

< 初期設定 >	4
< コントローラー操作方法 >	5
< 動作確認 >	8
< メンテナンス >	9
< トラブルシューティング >	10

＜初期設定＞

1.

設定画面を開く

まず、エンジンをかけて初期設定に入ります。※1

画面中央に鍵マークがある場合は中央のボタンを二回押して下さい。画面ロックが解除されます。

中央のボタンを長押しして、設定画面に移ります。

2.

言語設定

設定メニューが4項目出てきますので上下、決定ボタンを使用して“一番下の項目“を選択して下さい。

言語が4項目出てきますので“ENGLISH“を選び下さい。

3.

DROP DOWN の設定

設定画面に戻り、2番目の“DROP DOWN“を選択。

1番目の“DROP DOWN“を選択。

2番目の“NO“を選択。

戻るボタンを押して、次に2番目の“STALL DROP DOWN“を選択。

2番目の“OFF“を選択。

※1 初期設定中やコントローラーを使用中はエンジンを切らないで下さい。

<コントローラー操作方法>



1.

TOP 画面表示

- ・中央上にディスプレイギアの数字はメモリーした数字になります。
- このサンプル画像の場合ですとギア 3 の車高になっています。
- ・左上にステータスディスプレイは通常 Connect と表示されています。
 - ・右上にエアタンクの圧力値が表示されます。
 - ・画面中央にそれぞれのエアバッグ圧力値が表示されます。
 - ・右下に保護機能の ON/OFF が表示されます。

2.

TOP 画面ボタン操作

中央のボタン 2 独操作

左右のボタン 4 独操作

3.

設定画面ボタン操作

中央のボタンを長押しすると設定画面へと移ります。

操作方法

- ・一番上のボタン 上
- ・中央のボタン 決定/次のページ
- ・一番下のボタン 下
- ・左側のボタン 戻る

4.

各設定項目

- ・ HEIGHT MENU (車高メモリー機能)

圧力を 5 つメモリーすることにより、自動で車高の調整を行います。

5 つのメモリーそれぞれを個別に ON/OFF にすることができ、

色で区別されてグレー色は OFF となります。

当社おすすめの車高メモリー機能としては下記の設定になります。

- 1.) 全上モード (サスペンションストロークの 100% で設定され、ジャッキアップ時などに使用します)
- 2.) 高位モード (一般的にサスペンションストロークの 90% で設定され、段差の回避に使用します)
- 3.) 走行モード (走行する際の高さで、一般的にサスペンションストロークの 50% で設定され、通常 4 輪アライメントはこのメモリー値で測定調整します)
- 4.) 低位モード (一般的にサスペンションストロークの 20% で設定されます)
- 5.) 全下モード (全てのエアバッグを完全にゼロにし、サスペンションストロークの最低位置に設定され、

車両の展示にのみ使用されます)

注意：走行車高以外での走行はお控え下さい。タイヤの偏摩耗や車両を壊す原因になります。

やむを得なく走行する際は時速 40 kmまでにして下さい。

- ・ DROP DOWN MENU (ローダウン設定)

この機能は4輪のエア圧を同時に下げることが可能です。

デフォルトではエアバッグのエア圧が 10 秒間抜かれます。※1

STALL DROP DOWN を選択して、エンジン (ACC) オフにした時、

自動的にエアバッグのエア圧が 10 秒間抜かれるか ON/OFF の設定できます。

- ・ IGNITION MENU(イグニッション設定)

イグニッション設定モードはエンジン (ACC)をオンにした時 (5 秒後)、

自動的にエアバッグのエア圧が設定したメモリーのいずれかになるように初期車高設定として選択できます。※2

イグニッション設定は ON/OFF の設定ができます。

- ・ OTHER SETTING (その他設定)

LANGUAGE からコントローラの言語を中国語、中国語 (繁体字)、英語、日本語の 4 つからお選びいただけます。

AUTO PAD からコントローラの自動ロックを ON/OFF 設定できます。

ON にするとコントローラを 10 秒放置すると自動的にロックされます。

走行中に誤ってボタンを押してしまうことを防ぎます。

機能：リモコンを操作しない場合、10 秒後、キーボードは自動的にロックされます。

※1 運転中の操作は大変危険なので絶対に行わないで下さい。

※2 メモリー設定 OFF 状態は使用できません。「NO LEVEL」が表示されます。

＜動作確認＞

1.

エンジンをかけると、コンプレッサーが作動し始め、エアタンクに空気がたまります。※1

タンク内が既定の圧力に達すると、コンプレッサーは自動的に止まります。

2.

コントローラーの初期設定を完了させ取扱説明書コントローラー操作方法を参考に有線リモコンを操作して、車高の上げ下げが可能か確認します。

車高を上げると空気が消費され、既定の圧力以下になった場合コンプレッサーが自動的に作動し始めます。※2

3.

メモリーで車高を設定、もしくは設定した状態でメモリーボタンを押します。

メモリーした通りの空気圧になっているか確認します。※2

※1 必ずエンジンをかけてコンプレッサーを作動させて下さい。

コンプレッサーが作動している時、コントローラー画面右上の数値が上がることを確認して下さい。

※2 スマートフォン（以下、スマホ）で操作する場合も同じ確認をして下さい。

<メンテナンス>

1.

ウォーターセパレーターの点検（週一回点検推奨）

- ・タンクに接続されているウォーターセパレーターの下のノズルを指でつまみ上げて下さい。

水が出るのでウエスを用意して下さい。

2.

エア漏れ、破損の点検（月一回点検推奨）

- ・リークチェックですべての継手などから漏れがないか点検して下さい。※1
- ・エアバッグはじめ、その他エアサスに関する部品の亀裂、破損がないか点検して下さい。※2

3.

動作の点検（乗車前点検推奨）

- ・リモコンが正常に動作するか。
- ・車高が正常に上げ下げできるか。
- ・コンプレッサーが正常に動作しているか。※3
- ・エア圧が低下しないか。

4.

グリスアップの点検（週一回点検推奨）

- ・フロントピロアッパーマウントのピロ部分にグリスの塗布をして下さい。※4

※1 市販のリークチェックを推奨しますが、石鹼水でもかまいません。

石鹼水の作り方：中性洗剤 1： 水 4 を混合する。

※2 亀裂、破損を見つけた場合は写真を撮り取付業者に確認してもらい、指示に従って下さい。

※3 コンプレッサーは熱を持つので動作確認時にはやけどに注意して下さい。

※4 スプレーグリスでの塗布で問題ありません。

<トラブルシューティング>

1.

エンジンをかけてもコンプレッサーが動作しない場合

・エア圧が既定の圧力に達している場合は作動しませんので、コントローラーのエア圧を確認して下さい。

・ACC 電源のヒューズが切れている場合がありますので、

車内のヒューズボックスに接続されている ACC 電源取り出しヒューズを確認して下さい。

2.

コントローラー、スマホで上げ下げを操作しても車高が上がらない下がらない。

・車高が上がらない場合はエア圧が足りていない場合があります。コンプレッサーが自動的に止まってから再度車高調整を行って下さい。

・車高が下がらない場合はエアバッグのエアが全て抜けていわゆる全下げ状態になります。

・スマホにダウンロードした専用アプリが間違いないか確認して下さい。

・専用アプリを一度削除して再インストールして下さい

3.

エンジンをかけてもコントローラーの画面が一切表示されない。

・有線コントローラーの配線が抜けている、または、断線している場合があります。配線を確認して下さい。

・バッテリーまたは、マネージメント本体のアース線（黒）が接触不良、または断線していないか確認して下さい。※1

4.

リモコン圧力が 0 PSI となり、画面左上 に Disconnect と表示されている。

ボンネット内のバッテリー+電源のヒューズを確認してください。

5.

メモリーの車高が設定した車高（タイヤとフェンダーの距離）が合わない。

- ・ 操作中の路面状況次第では4輪とも車高が変わります。
- ・ 車高はあくまでもエア圧で管理しているため、気温などにより多少変化する場合があります。
- ・ 空気圧は設定した数値よりも2psi程度前後する場合があります。

6.

時間を置くとエアバッグ、タンクのエア圧が低下する。

- ・ リークチェックにて各フィッティングの微量のエア漏れがないか確認する。

※1 配線を点検する際は必要に応じてバッテリーのマイナス端子を外して点検作業を行って下さい。

以上の確認をした上で動作不良が解決しない場合は、マネージメント、コントローラー、コンプレッサー、エアバッグ、その他の部品が壊れている可能性があります。

その場合はすぐに取付業者にご連絡下さい。

※取付業者以外の方が修理作業などを行った場合、保障対象外となりますのでご注意下さい。

900MOTORING

代 表 芳賀 卓

900motoring@ymail.co.jp

090-3619-1772



-NOTE-